

# 私たちの町議会 りくべっ

No. 88

発行月日・平成29年5月12日  
編集・議会運営委員会  
発行・北海道陸別町議会

## 3月定例会

陸別町議会3月定例会は、3月7日から14日まで、その内5日間開かれました。今定例会では、平成28年度補正予算案7件、条例案9件、平成29年度当初予算案7件、議会発議案1件を可決し、閉会しました。

**平成29年度 予算総額 60億7,836万円**

— 対前年度比3.4%増 焼失した福寿荘の再建に2億3,366万円を計上 —

### 当初予算質疑から

○コミュニティバス運行委託料 653万円

**Q** 新年度からの運行方法は。

**A** 試験運行で寄せられた意見を踏まえ、車両に大きく「コミュニティバス」の表示をするよう改善するほか、市街線の運行経路を延長し、経路上のどこでも乗降可能とする。

また、郊外線は、予約制で平日であればどの地域でも利用可能とする。

**Q** 車内が狭く、乗りぶつけそうになるとの意見がある。今より大きな車両にする考えはないか。

**A** 課題があることは認識している。踏み台の使用や、乗務員が見守ることにより対応する。様々な方法が考えられ、今後も利用者の声を聴いていくが、現時点ではこのまま電気自動車を有効活用したい。

▲実際に乗ってみると、見た目の印象以上に苦勞することが解ります。



### ○福寿荘改築工事

2億3千366万円

**Q** 工期の見通しは。

**A** 工期は発注後5か月ほどと見込んでいます。

(質疑に先立ち、新たにスプリンクラーを設置すること、居室が2室増えて8室になること、更にシヨートステイ用の居室1室を新設することなどの説明もありました。)

○公衆浴場の利用促進  
**Q** 町民の利用が増えているほか、穴場的な入浴施設として、トラックの運転手などの利用があると聞いている。

更に魅力を高めるため、人工的な温泉化を検討してはどうか。

**A** 人工温泉化については、機械設備や管理に問題が生じないか、調査してみたい。

また、昨年の中学生模範議会で、案内看板が見えづらいとの意見もあり、この点も検討する。



▶国道、道道から誘導する案内看板の設置も必要かもしれません。

# 当初予算質疑

## ○移住定住促進住宅建設等補助事業

**Q** 中古住宅購入の補助要件で、建築後3年以内という条件を緩和したほうが定住につながるのでは。

**A** この補助制度は、新築住宅をベースとしており、事情があつて新築した家を手放さざるを得ない状況を想定したものです。

中古住宅の購入に際しては、リフォームが必要になることが多いと思われるので、住宅改修に補助する規定を設けた。

## ○防災訓練実施事業

**Q** しらかば苑などの福祉施設入所者の防災訓練にどう取り組むのか。

**A** 町が実施するのは総合防災訓練で、イベント広場などを会場に大雨災害を想定した訓練を全町的に行う。自治会連合会と合同の図上訓練も行いたい。

福祉施設では独自で訓練を実施していると思うが、パンフレットにより、非常時の避難場所などをお知らせし、注意喚起できるようにしたい。

## ○十勝市町村税滞納整理機構への負担金（一般会計・国保会計）

**Q** あり、この機構への徴収委託は賛否両論があるが、費用対効果はあるのか。

**A** 平成29年度は6件、306万円を引き継ぐ予定となっているが、これまで費用対効果が逆転した

ことはない。  
また、納税意識の低い方に対し、税滞納整理機構に引き継ぐと最終通告した段階で、納付に応じていただけるところもある。そういった面も含め、今後機構への委託を継続する。

## ○携帯電話用鉄塔整備（上陸別地区）

**Q** 草地でも通話可能になるのか。

**A** 人家の不感解消を目的としているため、公共草地は事業者が通話を保証するエリアにはならない。



## ○公共施設の耐震化

**Q** 耐震化が必要な新町交流館について、今後どうするのか。

**A** 公営住宅等長寿命化計画の中に位置付けており、平成30年度前後に改築を計画している。

## 平成29年度 各会計当初予算額

会計名	総額	前年度比	
一般会計	45億5,922万円	106.9%	
特別会計	国保事業勘定	5億0,104万円	103.0%
	国保直営施設勘定	3億1,434万円	70.4%
	簡易水道事業	1億8,199万円	93.5%
	公共下水道事業	1億9,269万円	127.1%
	介護保険事業勘定	2億8,775万円	97.5%
後期高齢者医療	4,133万円	100.4%	

**Q** 奨学資金貸付金検討中となっている給付型奨学金について、何か進展はないのか。

**A** 昨年、色々な手法が考えられるので調査・研究をしたいと答えましたが、現時点においても検討しているところ。

## 新年度予算の主な事業

### ○ コミュニティバス運行事業 653万円（新規）

〔実証試験により路線を見直し郊外線は平日は毎日、どの地域でも予約制により利用可能〕

### ○ 移動通信（携帯電話）用鉄塔施設整備事業 5,626万円

〔上陸別地区の人家の不感解消をはかる 参入事業者は au（KDDI）1社〕

### ○ ふるさと納税促進事業 680万円（新規）

〔インターネット大手サイト「ふるさとチョイス」を利用するための経費〕

### ○ 十勝バス及び北見バスの利用助成 300万円（継続）

〔乗車人数や年齢制限なし、陸別線の運賃の3分の2を助成する〕

### ○ 移住定住促進住宅建設等補助事業 1,400万円（新規）

〔補助対象者は「新規移住者」・「陸別町在住者」などで、補助金額は次のとおり〕

- ①住宅新築 (1) 一般世帯 1㎡当たり1万円 限度額200万円
- (2) 子育て世帯 1㎡当たり1万5千円 限度額300万円
- (3) 二世帯 1㎡当たり2万円 限度額400万円

②建築後3年以内の中古住宅購入 1㎡当たり1万円 限度額200万円

③住宅改修（リフォーム） 費用の2分の1以内 限度額50万円

\* 施工業者は、原則、町内に本店を置く事業者であることが条件となります。

\* 10年未満で町外に転居した場合は年数に応じて補助金の返還義務が生じます。

\* その他詳細な条件、基準については役場総務課におたずねください。

### ○ ふるさと交流センター（道の駅）トイレ改修工事 1,613万円

〔洋式に改修 工事期間中は仮設トイレを設置〕

### ○ 防犯灯新設・撤去事業 265万円

〔LED防犯灯設置、緑町26基〕

### ○ 出産祝い金事業 290万円（継続）

〔第1子20万円～第4子以降100万円まで、交付要件に該当する方に祝い金を贈呈〕

### ○ プレミアム商品券発行 810万円（継続）

〔年2回実施、プレミア率は20%〕

### ○ 街路灯改修事業 718万円

〔LED街路灯設置、高齢者交流センター付近 1基、町道東2条通り（JA陸別町前）4基  
～ 町道東1条2丁目通り 2基 ～ 町道恩根内連絡線 8基（しらかば苑方面）〕

### ○ 災害対策用備品ドローン購入 71万円

〔4ローター、撮影機能付、防災目的以外にも林地調査、イベント等、多目的に使用する〕

### ○ 給食費無料化 保育所200万円／小学校480万円／中学校255万円（継続）

〔保育所は食材費を公費負担、小中学校は給食費を全額補助〕

# 一般質問

3月定例会では5人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

本田 学 議員

## 本町の小中学生の体力の現状と取り組みは

**Q** 昨年実施した、全国体力、運動能力、運動習慣等調査の結果と取り組みを伺う。

**A** (野下教育長) 国から指定があるのは、小学5年生と中学2年生だが、本町では全学年で調査を行っている。体格と8種目の実技調査の結果では、中学男子は全国平均をやや下回っているものの、小学男女、中学女子は、全道、全国平均を上回り、陸別の子どもは、体格、実技とも良い傾向にあると判断している。前屈、立ち幅跳びが弱い傾向がみられ、全学年のデータを基に体育指導に努め、中学生は、個人で目標を立てることにより、自覚を持たせるようにしている。



家庭へは、良い生活習慣・食習慣付けに努めてくれるようお願いしている。

## 中学校の部活動の再考を

**Q** 中学校では生徒数の減少により、野球部が募集停止となるなど団体競技の活動が困難な状況になっている。

**A** 少年団へは、野球、サッカーなどの競技に加入している児童が相当数あり、中学校でも引き続き部活動を望む想いがある。

以前のように他町との合同チームなど、子ども達が希望する部活動が行えるよう検討できないか。

**A** (教育長) 部活動の適正な配置について、生徒数の推移を見込んだ議論がされ、平成28年度、野球部の募集が停止されたが、これらの件について、議論できる場を設けていきたい。

久保広幸 議員

## 社会福祉施設等の防火安全対策を問う

**Q** 高齢者施設の火災が多発したことを受け、

国ではスプリンクラー、自動火災報知設備、火災通報装置の設置基準に関する見直しなどを主な内容とした消防法の改正がされている。経過措置の期限が平成30年3月末となっているが、町内の施設の整備状況を伺う。

(野尻町長)

**A** 町内でスプリンクラーの設置が必要となるのは、しらかば苑、ゆづの里、あいの里、とまむ園、みどりの園で既に整備されており、障がい者グループホームについては、整備が必要な障害支援区分4以上の方が入居している施設はないものと聞いている。

自動火災報知設備の設置が義務付けられた全ての施設についても既に整備済となっている。

火災通報装置が自動火災

◀更地になった福寿荘の敷地。11月までに新しい施設が建てられます。



報知器と連動して消防に通報される仕組みが義務付けられたが、対象施設のうち、2施設が未整備な状況にある。

**Q** 改築される福寿荘と、ふれあいの郷、ゆづの里、あいの里の区域は隣接しており、お互いの施設の延焼対策が必要では。

(町長)

**A** 外構的なものを新たに設置することは困難である。委託している事業者と連携し、避難訓練等を行っていきたい。

〔次のページへ続く〕

# 一般質問

## 要介護認定者の障害者 控除の適用について

**Q** 所得税、住民税では、納税者または、その扶養者が障害者手帳等の交付を受けている場合、所得から一定の控除が受けられることが定められている。また、65歳以上の方で、その身体や認知機能の程度が障がい者に準ずると町長が認められた場合は、障害者手帳の交付を受けていなくとも控除の対象となるとしている。

**A** 本町の規定においても要介護認定者で認定基準を満たす場合は、所得控除の対象となる認定を受けることができるのか。また、この制度を知らない町民がいると感じているが、本町の認定状況と町民への周知の考えを伺う。

(町長)

**A** 本町でも同様に認定することが可能である。17件を認定しているが、周知の方法について、工夫していきたい。

## 山本厚一 議員

### 東京事務所の開設について

**Q** エイデル研究所と協定を締結した陸別町東京事務所の開設の経緯と協定内容を伺う。

(野尻町長)

**A** 平成元年にエイデル研究所の仲介により、全日本電気機器労働組合連合会音響部会との間で友好提携に関する覚書を締結した。その後、サマーインリクベツ、冒険・体感というきょう、しばれフェスティバル、大学生受入などに関わっていただいている。

協定は、都市圏からの人材誘致並びに産業、経済、雇用など地域の活性化と発展に資することを目的として、平成28年10月28日に取り交わした。

内容は、本町のPR活動及び本町が行う事業のサポート、都内の組織との調整、移住定住の情報発信、事業の企画・提案などとなっている。

**Q** 平成28年度から人材発掘のための大学生の受け入れを行っているが、その内容をお聞きする。

(町長)

**A** 新農林業人材発掘プログラムとしてエイデル研究所に事業を委託して行ったが、大学生8名が来町し、酪農、林業などを体験することにも、陸別町の魅力を感じ取っていただいたと考えている。



### 交流施設の整備を

**Q** イベントセンターも老朽化してきており、交流、研修やイベントの実施に対応するため、宿泊ができる施設の整備が必要ではないか。

交流、研修やイベントの実施に対応するため、宿泊ができる施設の整備が必要ではないか。

(町長)  
**A** 貴重な提言としてお聞きしておく。

中村佳代子 議員

### 不育症の治療に 対する助成を

**Q** 妊娠しても流産や死産を繰り返す、子どもを出産できないお母さんが検査や治療する際、保険適用外のものがあるなど高額な医療費となる。

北海道では、現在支援を検討中と聞いているが、治療を受けると80パーセントほどの方が出産につながっており、不妊治療と同様に、不育症の治療に対しても助成してはどうか。

(野尻町長)

**A** 北海道では、平成29年度からの不育症治療の助成に向けて道議会に諮る予定と聞いている。本町としても特定不妊治療と同様に、町単独の上乗せ助成を6月定例会に向けて検討している。

〔次のページへ続く〕

# 一般質問

## 乳がん・子宮がん 検診助成の拡充は

**Q** 現行制度の対象年齢は、子宮がんは20歳から、乳がんは40歳からで、2年に一度の検診に対する助成となっている。

早期発見、治療のため、乳がんも20歳以上にし、集団検診以外も対象に、毎年でも可とするよう見直せないか。

(町長)

**A** 乳がんについては、国の実施要綱に沿って行っており見直すことは考えていない。自己触診など早期発見に向けた健康教育とともに検診を併用しながら対策に努めていきたい。子宮がんについても病気の性質上、見直す考えはない。

## フッ化物洗口を 中学生も対象に

**Q** 助成対象となっている小学生の7割がフッ化物洗口を受けている。北

海道の推進計画では永久歯が生えそろった中学生までとしており、対象者を中学生まで拡大できないか。

(野下教育長)

**A** 毎年歯科検診を行っているが、虫歯の平均本数は大きく減少している。歯磨き指導の中で、生活習慣付けを期待している。



谷 郁司 議員

## 地域産業の活性化に 向けた考えを伺う

**Q** 本町の基幹産業は何と捉え、活性化に向けた方策は。

(野尻町長)

**A** 地域経済の基盤となるものと捉えているが、酪農を中心とした農業、林業を基幹産業として、観光を含み商工業、雇用の面では福祉事業も産業と考えて

いる。

どの職場でも人材不足が深刻となっており、産業担い手対策協議会(仮称)を設置し、町内全体で検討していく。商工業者の撤退、廃業も町内経済を低下させる要因となるので小規模企業振興基本条例に基づき取り組みたい。

**Q** 平成29年度において、バイオマス事業に関する予算や執行方針が盛り込まれていないが、どうするのか。

(町長)

**A** 整理しなければならぬ課題が残っているが、行つて気持ちに変わりはしない。

**Q** 農業施設の老朽化、後継者の問題が深刻な状況にあり、農業戸数の減少を食い止めるためには町が施設を整備するリース牧場を行っていくべきと考え

(町長)

**A** これまで慎重に検討してきたが、公平性な

どの問題があり、提案のあった方法によるリース牧場については、実施しない判断をした。

**Q** 国有林の購入や管理などの事業を町が受託することにより、林業の継続的な事業を見込むことができるのでは。

(町長)

**A** 循環型林業を目指すなど行政としてできることを考えていきたい。

国有林野事業の受託を要請した経過があり、今後も要請していく。

**Q** 本町の基金や起債の状況を見ると、財政的には余裕がある。基幹産業を育成するためにも積極的な事業投資を行い、雇用の創出などにつなげるべきと考え

(町長)

**A** 財政の健全化にも配慮しつつ、補助事業を活用するなど効果的な事業を行っていく。

## 補正予算質疑

### 平成28年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	1億8,039万円	50億1,686万円	
特別会計	国保事業勘定	△366万円	4億9,488万円
	国保直診施設勘定	△6,254万円	3億8,808万円
	簡易水道事業	△260万円	1億9,435万円
	公共下水道事業	△903万円	1億4,265万円
	介護保険事業勘定	281万円	3億0,542万円
	後期高齢者医療	1万円	4,032万円

**Q** 医薬品の院外調剤による本人負担額の増加について 同じ薬を処方してももらったのに、診療所内の薬局で受け取っていた時に比べ、院外調剤の方が支払額が増える場合がある。町民への説明が必要ではなかったか。

**A** ご指摘のとおり、全く同じ薬、量であれば加算があり、支払額が増える

**Q** 陸別リコーダーアンサンブルクラブ全国大会出場に対する補助金 64万円 補助率を3分の2とする根拠は。

**A** 陸別町スポーツ振興基金運用規則の助成基準を準用した。

**Q** 出場経費が高額になる場合、参加者の負担も多く、自己負担額に上限を設ける考えはないか。

**A** 過去に例は無く、そういった要望を受けてはいない。

対応するジエネリック医薬品があれば支払額が安くなることや、薬に関する様々な相談が出来るなど、かかりつけ薬局としての利点もあるので、時代に即した医薬分業の導入とご理解いただきたい。

## 条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 町税条例等の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可 決
● 職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町スポーツ振興基金条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町新農業人育成に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律附則第1条第5項に掲げる規定の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可 決
● 政府契約の支払遅延防止等に関する法律第8条第1項の規定に基づく支払遅延に対する遅延利息の率の改正に伴う関係条例の整理に関する条例	可 決
以下議員発議	
● 議員の派遣について〔議員研修会（札幌市、更別村）〕	可 決

## 第1回臨時会

1月17日、第1回臨時会が開かれ、平成28年度陸別町一般会計補正予算(第10号)を審議し、可決しました。

### 補正予算の主なもの

○酪農・畜産収益力強化整備事業補助金

4千22万円

陸別町酪農・畜産クラスター協議会に交付され、平成29年度に繰り越し、牛舎の整備に充てられる。

## 産業常任委員会報告

1月19日、産業常任委員会(委員外の議員も参加)とJA陸別町との懇談会を開催しました。

陸別農業の概要、陸別町酪農・畜産クラスター事業、畜産センター整備事業(本苫務)、リース牧場構想、バイオマス事業について意見を交換し

ました。

JAの主導により、育成牛施設等への設備投資や、経営体の法人化による労働力の確保、搾乳ロボット・自動給餌機の導入による省力化などの取り組みが進む一方で、後継者対策、新規就農者支援、家畜糞尿の共同処理など、解決すべき課題も山積しています。

今後も、引きつづき調査・研究することになっています。



▶ JA陸別町を訪問

## 議会の動き

### 【1月】

17日 議会運営委員会

第1回臨時会

議員協議会

産業常任委員会

19日 産業常任委員会

(JA陸別町との懇談会)

### 【2月】

21日 議員協議会

### 【3月】

3日 議会運営委員会

7日 3月定例会

総務常任委員会

産業常任委員会

議員協議会

8日 3月定例会

9日 3月定例会

13日 3月定例会

議会運営委員会

14日 3月定例会

議会運営委員会

### 【4月】

5日 議会運営委員会

次回の定例会は6月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。



**町民の声を聴く**  
 請願(陳情)は国や町などに対しての要望を文書で提出するもので住民の権利として保障されています。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

## 陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】  
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>